

宇部地区大会決勝戦評

○男子決勝

宇部工○56(22-5 12-4 6-6 16-13)28●小野田工

両チームマンツーマン。小野田工の#7の素早いドライブから先制する。宇部工もすぐさま#7の3Pで応戦する。宇部工は素早いパス回しから外、中とバランスよく加点していく。対する小野田工はフリースローから加点するがリバウンドを完全に支配され得点が伸びない。宇部工22-5小野田工。2Q、宇部工がディフェンスを強め小野田工はタフショットを強いられる。5分を過ぎたところで宇部工5人がメンバーチェンジをし、激しい運動量でさらにプレッシャーをかけ、小野田工5分間ノーゴール。宇部工34-9小野田工で前半終了。後半に入り、小野田工もディフェンスのプレッシャーを強め宇部工はミスを連発する。宇部工チームファールとなるが、小野田工はそのフリースローを決めきれない。宇部工40-15小野田工。4Q、宇部工は選手を変え運動量を活かした素早いブレイクから加点していく。対する小野田工も#4の1対1からカウントをもらうがフリースローものの、ことごとくリングに嫌われる。小野田工はオールコートディフェンスで応戦するが、運動量に勝る宇部工は落ち着いてゲーム運び、宇部工56-28小野田工で宇部工が逃げ切った。敗れはしたが、本日3試合目を感じさせない小野工の運動量と気迫あふれるプレーは素晴らしかった。

○女子決勝

慶進○41(8-10 15-10 4-5 14-12)37●宇部商

両チームハーフコートマンツーマンディフェンスで、開始早々慶進#6のシュートで始まる。慶進は勢いのあるオフェンスで得点を重ねる。残り3分、リズムに乗れない宇部商はタイムアウトを取る。タイムアウト後、宇部商はマンツーマンプレスで流れを掴み、逆転に成功する。慶進8-10宇部商。2Q、慶進#9のシュートですぐに同点にするが、宇部商も#9のシュートで応戦する。その後も昨日行われた中国大会予選の決勝戦の堅さとは違い、両チーム共に、持ち味が見られる一進一退の攻防が続く。慶進23-20宇部商で前半終了。3Q、序盤から宇部商はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え主導権を握ろうとするが、得点に結びつかない。残り2分、今の流れを嫌い、慶進タイムアウト。タイムアウト後、両チームディフェンスを強めるなど、譲らない展開となる。慶進27-25宇部商。4Q、開始早々慶進#9のスティールからブレイクが決まる。その後も巧みなディフェンスからブレイクで、慶進#6の3Pや#17のジャンプシュートが決まり、突き放しにかかる。この間一挙に10点差にする。たまたま宇部商タイムアウト。タイムアウト後、宇部商の粘り強いリバウンドやディフェンスで食らいつき、残り25秒、宇部商#9の3Pが決まり2点差にする。しかし、最後は慶進#10の落ち着いたシュートで、慶進41-37宇部商で慶進が勝利した。